

「ガウガウ♡ ようやくコドモたちも小さいけど、独り立ちできるようになった♪」

「ガウとオマエの群れ、もつと多い方がいいけど、一回に産める数、少ない…だから、いっぱい交尾して子作りするぞ♡」

「ハッ、ハッ…♡ ガウはオマエとのコドモもつと欲しい、たくさんだとオマエも嬉しい?♡」

「わうわう!♡ ああ、そうだ♡」

「元々、オマエの仲間だった、冒険者たちも、全員ちゃんと同じになったゾ」

「オマエと同じように、子供を産んだり種付け棒として孕ませたり。みんなナカマだ♡」

「まあ、ガウはどっちでもいい♡ そんなコトより、オマエとのコドモ、もつと増やしたい♡ わおおん! ハッ、ハッ、ハッ…♡」

「オマエは全部ガウのモノだからな♡ これからも大事にして、いっぱい交尾するだけ♡ すんすん…ハアッ♡ ハアッ♡ ハアッ♡ オマエの体もガウと交尾したがつて♡ 発情の匂いスゴイぞ♡」

「オマエの体、コドモ産んでから変わったところもあるの、ガウも気づいてる。コドモ大きくするために、お乳、出るようになった。コドモたちの分だ、でもオマエはガウのモノだよな?♡」

「ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ だったら、そのお乳も、ガウのモノ、違う?♡」

「わうわう♡ オマエのお乳、ガウも貰う♡ いっぱいペロペロして、チュウチュウして…吸い出してやるぞ♡ んちゅつ♡ ちゅるちゅつ、ちゅつ、ちゅつ、ちゅつ…んん♡ ちゅうつ、ちゅつぷつ、ん♡ ハッ、ハッ♡ ちゅるつ、ちゅうちゅう、んつ、んん♡」

「ちゅつくつ、じゅるじゅるつ、んうつ♡ ちゅうちゅうつ、ちゅぷりゅつ、んちゅ、んちゅ、んちゅつ。ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ お乳、出てきたぞ♡ 濃くて、あまあい♡ やさしい味♡ ハアッ♡ ハアッ♡ ハアッ♡」

「ガウのチンポもギンギンになってきたぞ♡ オマエとのケツまんこにいっぱい出したくてたまらないぞ♡ ちゅうつ、ちゅつくつ、ハア、ハア♡ ちゅくつ、ごくくつ、ごくくつ、んん♡ 少しずつお乳、出てきてるけど、止まらないな♡ 今だけは、ガウのモノ、だぞ♡」

「ちゅるつ、ちゅぷつ、ちゅるるつ、ん♡ ちゅむちゅむつ、むちゅるうつ、ぬちゅつ、ちゅぷつ、ちゅぷつ。くちゅるつ、ん♡ ん♡ んん♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡」

「発情してる匂い、どんどん濃くなつてきてるぞ♡ お乳、出して、乳首攻められて、気持ちよくなつてる?♡」

「ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡」

「オマエのチンポも勃起してる♡ チンポももう、濡れてきてるな♡ わうわう!♡ コドモたちもオマエのお乳の匂いに釣られて寄つてきたぞ♡」

「でも、今はガウのモノだから、そこで見てろ♡ 後でちゃんと、コドモたちにもお乳、あげる。」

「ちゅうつ、ちゅぷつ、ちゅるちゅつ、んっ♡ んウ♡ こく、こくこくつ、んあ♡ はあはあ、はあはあ♡」

「オマエのお乳、ホントスゴイ♡ 病みつきになる♡ ずっと、吸ってたくなる♡」

「ハア、ハア、ハア♡」

「オマエ、コドモにお乳あげるときも、こんなに発情してる？♡ それとも、ガウが吸ってるからっ♡」

「ハア♡ ハア♡ ハアハア♡ ハアハア♡」

「もう、ガマンできないぞ♡ わうわう！♡ ちゅつ、ちゅつぷつ、んっ♡ もっとたくさんくれ♡ じゅつ、じゅうつつ、んんっ♡ んぐつ、んじゅるっ、じゅるするじゅつ、んずりゅつ、んんっ♡」

「じゅりゅつ、じゅつくつ、じゅうつ、じゅうつうつ、んオ♡ んっ、んくつ♡ ぐびっ、こくつ、こくんっ♡ んっ、はああ♡ お乳、いっぱい飲んだ♡ お腹、タプタプ♡ ふふふ♡」

「ガウはお乳、もう満足したぞ♡ かわりに、オマエのことすっごく食べたく、なってるぞ♡ ハア、ハア、ハア♡ 別に隠すことでもない♡ コドモたちにも、ガウたちの交尾、見てもらう♡」

「オマエ、自分のコドモに見られながら交尾するの、スキ？♡ 分からない？ でも、オマエの体…♡ さつきよりも発情の匂い、濃くなってきたぞ♡ 交尾したいの、ガマンしてない？♡ わうわう！♡」

「ガウはガマンしないぞ？♡ オマエのメス穴にいっぱいせーし出したくて、もう爆発しそオ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハアッ♡ ハアッ♡ ハアッ♡ ハアッ♡ ワオオン！♡」

「あつうん！♡ おつ、おウ♡ おおん♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ んっ、わおおん！♡」

「オマエのメス穴♡ ガウのチンポ、食べるの上手♡ うつぐウ♡ あつ、あウ♡ ううん！♡」

「一気に、全部飲み込まれたぞ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハアッ♡ んんウ♡ ズボズボ、ズボズボ♡ 動くと、キユウキユウ締め付けてくるウ♡ おう♡ おつ、おおん！♡」

「これエ♡ 止まらないぞ♡ んっぐつ♡ おつ、おウ♡ おおんっ♡ おつ、おおん♡ ハッ、ハッ、ハッ、んっ、んんっ♡ ああ♡ メス穴、スゴいぞ♡ んっ、んんっ♡ んんうっ♡」

「たくさん交尾してるのに、全然飽きない♡ んんんウ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ んっ、んウ♡ あつ、あう♡ おつ、おおん！♡」

「オマエもずっと発情してるな？♡ チンポの先から、汁がトロトロ垂れてるぞ♡」

「せーし、出る前の、んっぐウ♡ 透明で、ネバネバなチンポ汁♡ んっ、んうっ♡」

「すっごく濃くて、いい匂い…♡ ハッ、ハッ、ハッ、ハッ♡ あおおん！♡ …アハア♡ 見てみる♡ ほら、コドモたちが、ガウたちの交尾、ずっと見てるぞ？♡ せーしの匂い覚えちゃったナ♡」

「さつきまで、オマエのお乳狙ってたのに…♡ 今は違う♡ 発情してるオマエ見てガウと同じように美味しそうって思ってるぞ♡」

「ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ちゃんと交尾できるように、しっかりと見せつける♡」

「ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ オマエのせーしも、濃くて美味しいぞ♡ アハア♡ おい、コドモたちを見てみろ♡ すっごく発情してるぞ♡」

「ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ガウたちの交尾見て、自分たちもチンポ、シゴきたくなつたみたいだ♡ 初めてだと、上手くできないかもしれない♡ だから、オマエが口で、せーし出させてあげるといい♡」
「そうだ♡ それがイイ♡ ガウはこのまま、オマエのメス穴にもつとせーし出すから♡」

「オマエは、ガウとコドモたちの相手、両方してあげるといい♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ 大丈夫♡ オマエ、ガウとの交尾で口もチンポも、ガウのこと受け入れてた♪ コドモたちの相手なら、余裕♡」
「ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡」

「がうがう♡ ガウは一回じゃおさまらないからな♡ もつとオマエのメス穴にせーし出す♡ いいな?♡」

「あオオン!♡」

「ほら、コドモたちの相手もしてやれ♡ ビンビンになつてる、コドモのふたなりチンポ啜えてやるといい♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ アハ♡ 口は一個しかないからな♡ オマエのお乳、吸わせてやれ♡」
「んオ♡ おオ…♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ さっきより、メス穴の動きがキツくなつたぞ♡ んんウ♡」
「ハアッ♡ ハアッ♡ ハアッ♡ キツくて、気持ちいい♡ コドモの相手して、オマエ、もつと発情した?♡」
「あうん♡ 乳首、ちゅうちゅうされて、んんっ♡ コドモふたなりチンポ、口でじゅぼじゅぼして、気持ちよくなつてる?♡ わうわう!♡ いいぞ♡ ガウも、もつと、突いてやる♡ あオオン!♡」
「オマエの気持ちよくなれるところ、ガウ全部知ってるからな♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ 突いて、突いて、突きまくつて♡ またコドモ産ませる♡ ガウたちの群れ、もつとたくさん増やす♡」
「んんウ♡ あっ♡ あウ♡ おっ、おお♡ おオン♡ おっぐウ♡ うウ♡ うっ♡ うオ♡ おおオン!♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ハアッ♡ ハアッ♡ ハアッ♡ んんウ♡ オマエの発情してるの見たら♡ チンポもう復活した♡」

「がうがう♡ ズボズボするたび、さっき出したせーし、泡になつて出てきてるぞ♡」

「もう入らない?♡ そんなワケない♡ ケツまんこの中、もつともつと、ガウのせーしでパンパンにする♡ あオ♡ おオ♡ おオン!♡ おっくウ♡ うウ♡ うウン!♡ あっ、あっ、あっ、あっ♡ あオオン!♡」

「おオ?♡ 口の中にせーし出された?♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ 初めて出したせーし、オマエ飲めてよかったな♡ ちゅばっ♡ ん、んっ♡ コドモ達のせーしもきちんと濃いゾ。さすがガウ達のコドモだ♡ すぐにもメスを孕ませられそうだナ♡」

「わうっ♡ コドモのせーし飲んで、さらに敏感になつた?♡ いっぱい感じて、いっぱい発情してるところ、ガウに見せろ♡ ハアッ♡ ハアッ♡ ハアッ♡ アハア…♡ せーし、初めて出して、気持ちよくて顔がトロけてる♡ …ん? ああ♡」

「ほら、まだせーし出せてない子も、相手してやれ♡ オマエもせーし、欲しいだろ?♡」

「わうわう♡　メス穴にはガウがちゃんと注いでやる♡　溢れても、止めないから安心しろ♡　あう
わおおん！♡　んっ、んんウ♡　あつ、あウ♡　おつ、おおん♡　おつぐウ！♡　ハッ♡　ハッ♡　ハア
ッ♡　ハアッ♡」

「オマエの体、ビクビク跳ねてる♡ 気持ちいいのスコい?♡ メス穴ジユボジユボされるの、スキ?♡ アハハ♡ 発情の匂い濃すぎて、コドモたちクラクラしてるぞ♡ ガウも、もうせーし出そう♡」

「オマエの体、美味しすぎて♡ ガウたちおかしくなってるぞ♡ ガマンしない♡ 全部、出す♡ オマエに出してやる♡ 孕みヨメになつて、ガウのツガイのオマエ、今幸せ♡ 見てれば分かる♡ 交尾ずつとしたいだろ?♡」

「体の疼き、止められるのがウだけだから♡ これからも大事にする♡ いっぱい、コドモ作って、ん♡」

「ガウたちで強い群れ、作るぞ♡
んっ、んぐウ♡
んオ♡
おっ、おっ、おおオ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハア♡
ツ♡ あオオン!♡」

「もう、ダメ♡ ガウ、せーし、出る♡ 発情しまくったメス穴に、全部、出す♡ ふたなりチンポ、上手に搾り取るオマエのケツまんこに、一滴残らず出す♡ あう♡ あお♡ あおんー！♡」

「ハッ♡
ハッ♡
ハエッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハエッ♡
孕め♡
孕め♡
孕めエ♡
うっぐウ♡」

「おオ♡
おオオオオオオオオオオオんんツツツ！！♡♡♡」

「ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ…♡」

「オマエ、メス穴も♡ 体もガウたちのせーしでドロドロ、だぞ♡ わうわう♡ コドモたちのせーしも全部オマエの口の中♡ たくさん、発情、した？♡ ハッ♡ ハッ♡ ハアッ♡」

「ガウとの交尾♡ オマエ幸せ♡ それだけでいい♡ オマエ、ガウのツガイだからな♡ これから、もつと交尾して、たくさんコドモ産む♡ 祝福されて、孕みヨメになったツゲンの一番の幸せ♡」

「わうわう♡ ハッ♡ ハッ♡ ハアッ♡ わうっ、もつと交尾♡ 交尾♡ ガウっ、祝福して♡ 孕ませ♡ ふたなりちゃんぽで気持ちよくなつて、家族増やすぞ♡ あおおんっつ♡♡♡」